

ともひろ
かじや知宏 議員報告



<生年月日>昭和43年9月12日 <年齢>44歳 <出身地>大阪府枚方市 <趣味>読書、スポーツ観戦、神社仏閣巡り <血液型>O型
<経歴>阪保育所→殿山第二小→枚方三中→牧野高→龍谷大→報知新聞社(11年)→枚方市広報課(3年3ヶ月)→行政書士

<市役所>〒573-8666 枚方市大垣内町2-1-20 電話072-841-1221代
<自宅>〒573-0171 枚方市北山1-23-57 電話090-3705-9393
Eメール tomohiro@t-kajiya.com

かじや知宏のホームページ
<http://www.t-kajiya.com>

(1)待機児童の解消について



**施策の「選択と集中」を行い待機児童をゼロに
将来の保育需要も踏まえ保育ママや既存施設の活用も**

待機児童の問題は、子育て中の若い世代にとって深刻な問題であり、喫緊の課題として早期に解決していく必要があります。しかし、枚方市では、平成24年4月当初で32人の待機児童が発生し、本年2月1日時点では544人となっており、市長の公約である「待機児童ゼロ」には程遠い状況です。

この問題を解決するには、これまでの取り組みにとどまらず、施策の「選択と集中」を実行し、思い

切って予算の配分を待機児童対策に割くべきです。

しかし、少子化による将来の就学前児童数や保育需要も踏まえ(下表参照)、単にインフラを整備し認可保育所の定員を増加していけばいいということではありません。例えば「保育ママ」制度や幼稚園のような既存施設を活用するなど、中長期の財政的視点を踏まえ多角的な取り組みを行ってもらうよう提言しました。

◆就学前児童の保育状況

	平成19年度	平成24年度	増減
保育所入所児童数	6,059人(26.7%)	6,549人(30.1%)	+490人(+3.4ポイント)
幼稚園入園児童数	6,804人(29.9%)	6,568人(30.1%)	▲236人(+0.2ポイント)
在宅等児童数	9,857人(43.4%)	8,669人(39.8%)	▲1,188人(▲3.6ポイント)
合計	22,720人(100%)	21,786人(100%)	▲934人

税金の流れの透明化

ムダの排除

既得権の見直し

時代に合わなくなった政治・行政の仕組みを改革します

今回の議員報告では、3月議会で行った市長の市政運営方針に対する代表質問の中から9項目を取り上げ、その要旨や私の考え方について掲載しています。なお、今回掲載できなかった質問項目も含めて私の議会での発言については「かじや知宏のホームページ」に掲載しておりますのでご覧ください。

なお、この議員報告は、市政調査の目的で発行しています。枚方市政に関するご意見・ご提言・ご感想がございましたら、お気軽にお寄せください。皆さまから頂戴したご意見等は、今後の議員活動に生かしていきます。

(2)枚方市駅周辺再整備ビジョンについて

【かじや 質問】市長はこの枚方市駅周辺を将来どのようなまちにしたいのか、その具体的なイメージについて、お聞かせください。

【市長 答弁】ビジョンでは、駅周辺地区は商業・業務系、新町2丁目地区は医療・福祉・文化芸術系、大垣内地区は公共・業務系、天野川沿いの地区は住居・商業・業務系など、それぞれ特徴をもった4つのゾーンを設定することで、本市の中心市街地として魅力と賑わいにあふれるまちの構築をめざしています。



総合文化施設だけが具体化する中、見えぬ全体像 市役所庁舎建て替えを含む具体的なプランの提示を

「枚方市駅周辺再整備ビジョン」については、この地域をどういった「まち」にしたいのか、という具体的なものが見えてきません。近鉄百貨店の撤退などで魅力的な商業施設が駅前から無くなった現状で、まち全体のイメージをどう具体化していくのか不透明なままに、総合文化施設の整備だけが具体化するなど、一つひとつの部分的な計画だけが進むことに危惧を覚えます。

市駅周辺には、市役所庁舎のほか府民センターをはじめとする官公庁団地など、再開発事業の種地となる公共用地が多くあり、特に市役所庁舎の建替えが大きなカギを握ると考えます。サンプラザ1号館の移動をはじめ、市役所を南側に移動させることにより民間居住区や商業区を拡大し税収増を図るとともに、自動車交通の流動化を図るなどの具体的なプランを提示してもらうよう提言しました。

(3)災害発生時の業務継続計画について

災害対応や復旧・復興の拠点となり得る庁舎の検討を

東日本大震災の教訓からも分かるように、災害対応や復旧・復興には、市役所庁舎機能の維持はもちろん職員の力が必要になってきます。しかし、現在の庁舎では、震度6強の地震により部分的な損傷（天井や壁の崩落など）が発生する恐れがあり、大規模災害時の業務の継続はもちろん災害対応や復旧・復興を進める上で大きな支障がでることが予想されます。災害対応や復旧・復興の拠点となり得る新しい市役所庁舎の建設について、早期に検討を進めてもらうよう提言しました。

(4)市民まちづくり基本条例について

市民の定義に外国人を含めることについては慎重な判断を

この条例の根幹となる「市民」の定義については、審議会の中でも争点となっていることから（審議会の会議録は枚方市のホームページに掲載されています）、定義の中に外国人を含むのかについては慎重な判断を行うよう提言しました。

(5)下水道浸水被害軽減総合計画について

楠葉排水区についても早期に計画策定を

雨水流出抑制施設や管渠等を整備するハード対策と、内水ハザードマップの作成や地域住民への情報の伝達手段の充実等のソフト対策などを総合的に組み込んだ「下水道浸水被害軽減総合計画」を、25年度に南部地区さだ排水区において策定することです。昨年の集中豪雨の際は、楠葉をはじめとする北部地域においても浸水被害が多く発生していることから、北部地区楠葉排水区についてもできる限り早期に計画を策定し、浸水被害の軽減に向けた対策を進めてもらうよう提言しました。

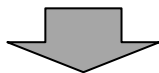
(6)市有財産の有効活用について

【かじや 質問】25年度予算の中に、労働組合の事務所の使用料は計上されていますか。

【市長 答弁】使用料については、現時点での見込みとして当初予算に計上しています。

◆職員会館にある労働組合事務所の面積	334.79㎡
◆行政財産使用料条例により算出した事務所使用料の金額	337万9487円

これまで使用料免除により無償で使用



今年度からようやく使用料を予算に計上

◆今年度予算に計上された事務所使用料の金額	128万8000円
-----------------------	-----------

※しかし、減免措置により条例による規定額337万9487円の約38%のみ計上



職員会館の維持・補修に多額の費用が必要な中、組合事務所の減免に疑問

今後は使用料減免を見直し全額徴収を

多くの公共施設が受益者負担ということで有料化されている中、市有財産のひとつである職員会館を労働組合に対して無償で使用させることは、市民の理解が得られないと考えます。これまで私たちの会派では、組合事務所について使用料を徴収するよう、議会で見解を求めてきました。

昨年12月議会には「行政財産使用料の算定根拠や規定方法などについて検討を進めている」との答弁があり、ようやく今年度から当初予算に初めて使

用料が計上され、一歩前進した感はあります。

しかし、その金額は減免により規定の使用料の約38%しか計上されていません。職員会館の維持補修については、24年度に1282万円、26年度に1803万円の支出が計画されています。今後も維持補修に関して多額の経費が必要となってくることから、組合事務所の使用料については減免を見直し、規定通りの使用料を全額徴収していくよう、引き続き要望していきます。

(7)事務事業総点検について

「選択と集中」のツールとして活用を

昨年度に実施した事務事業総点検は、効果額としては約3500万円にとどまったものの、職員の意識改革や事務改善の取り組みとしては一定成果があったと評価しています。しかし、この取り組みを単なる事務改善で終わらせるのではなく「選択と集中」のためのツールとして活用することで、優先度の低い事業を大胆に削減し、優先度の高い事業の財源確保につなげていくべきと提言しました。

(8)ニート・引きこもり対策について

家族への働きかけを含めた対策を

「子ども・若者育成計画」の対象は30歳代までということですが、引きこもり状態が長期化し40歳を超えた方々もおられます。本人や家族がなかなか相談に行けず、引きこもり状態が長期化するという悪循環に陥っており、こうした状況から脱け出すためには親をはじめとする家族の引きこもりに対する認識や理解が重要であり、まず家族が第三者に相談しないと問題解決が図れません。そのためにも家族への働きかけを含めた対策に、早期に取り組むよう提言しました。

(9)ごみ処理施設整備基本構想について

【かじや 質問】ごみ処理施設整備基本構想とはどのようなものなのか、その内容等についてお聞きします。

【市長 答弁】ごみ処理施設の現状を踏まえる中で、廃棄物処理体制を適正に維持できるように、第3プラントの老朽化対策を進めるとともに、将来のごみ処理施設の整備に向けて基本構想を策定します。この構想の中では、ごみ処理量の将来予測や処理方法、処理体制等の基本的な内容を検討していく予定です。



老朽化した第3プラントの維持には多額の費用が 第3プラントの老朽化対策と新施設の整備にかかる支出の重複回避を

現在、枚方市では年間10万トンのごみを東部清掃工場と穂谷川清掃工場第3プラントの二つの焼却施設で焼却処理していますが、第3プラントは稼働後25年を経過し老朽化が進んでいるのが現状です。しかし、第3プラントの後継となるごみ処理施設の具体的な計画は、現在のところありません。

第3プラントは、一般的な寿命とされる稼働後20年から25年の期間を超えようとしており、新たなごみ処理施設の整備を検討しなければならない時期に

来ています。第3プラントの「現状調査結果報告書」によれば、故障した場合にプラントの運転停止や重大な事故に結びつく設備で劣化が進んでいて、更新が必要な設備が多くみられるとのことでした。

老朽化したプラントを維持していくためには多額の費用が必要となることから、早急に基本構想を策定し、第3プラントの老朽化対策費用と新プラントの整備にかかる費用をできるだけ重複して支出することのないよう提言しました。

＝代表質問では以下の項目についても質問・提言を行いました＝

- ◆先送りできない課題の認識について ◆市長のトップセールスについて ◆市民との対話について
- ◆選ばれる自治体について ◆施策の選択と集中について ◆人権啓発について ◆成年後見制度について
- ◆職員定数基本方針について ◆人材育成基本方針について ◆情報発信リーダーについて
- ◆市有建築物の改修・更新工事について ◆市立ひらかた病院について ◆総合文化施設の整備について
- ◆新学校給食共同調理場について ◆新規就農の仕組み作りについて ◆枚方の歴史、文化と観光について

※質問内容の詳細につきましては、かじや知宏のホームページに掲載しています

長尾・牧野駅前では議員報告を行っています ～460回継続中～

午前6時20分頃～8時30分頃に長尾・牧野駅前では「議員報告」の配布とそのご報告を行っています。平成18年7月に開始した駅前での報告活動も、ついに7年目に突入し、トータルで460回を数えました。もし駅前で見かけられましたらお気軽にお声掛けください。



活動の詳細については「かじや知宏のホームページ」をご覧ください

詳しくは **かじや知宏** ともひろ で **検索**

Twitter twitter.com/kajiya_tomohiro

Facebook www.facebook.com/tomohiro.kajiya

「ツイッター」「フェイスブック」でもページを開設しています。

携帯電話からブログをご覧になれます→

